

**神戸市
【レベル4 モビリティ・地域コミッティ 中間報告書】**

2025年11月25日

Agenda

1. 自動運転実証調査事業の概要

- 1. 実証の背景と目的
- 2. 実証の概要

2. 実証内容詳細

3. 検証内容

1-1. 自動運転移動サービスの導入の背景・目的

- 自動運転サービスによって、バス・タクシーの運転手不足問題の解決、また、公共交通の維持・充実を図り、神戸の魅力・活力の向上に資する利便性の高い公共交通の実現を目指す。
- 灘の酒蔵での実証実験を踏まえて将来的にニュータウンでの地域コミュニティ交通の自動運転サービスを実現する

■ 事業実施の背景・目的・目標

背景	<ul style="list-style-type: none">・人口減少・超高齢化の進行などによる生産年齢人口の減少により、一部のバス・タクシーの利用者が減少している。また、運転手不足の問題も深刻化している。・一方、買い物やレジャーなどの多様な移動需要への対応、コミュニティ交通導入など、地域の足となる移動手段の確保が求められ、公共交通の維持・充実の重要性が高まっている。
目的	<ul style="list-style-type: none">・自動運転サービスによって、今後もより一層深刻化するであろう、バス・タクシーの運転手不足問題を解決し、公共交通の維持・充実を図り、地域の足となる移動手段を確保する。
目標	<p>＜短中期目標＞</p> <ul style="list-style-type: none">・灘五郷（神戸市内）において実証実験を実施し、自動運転の技術向上と持続可能な収益モデルの形成およびコスト低減の検討を行い、同エリアでの社会実装を実現する。
目標	<p>＜長期目標＞</p> <ul style="list-style-type: none">・将来的にニュータウン等の住宅エリアに横展開し、さらなるコスト低減策の検討・実装を推進し、生活の足として持続可能な自動運転サービスを実現する。



© 2025 NISSAN MOTOR CO., LTD. 3

実証実験概要【神戸市】@神戸市内灘五郷エリア

- 観光客が訪れる灘五郷エリアにおいて、自動運転技術を活用した新たな移動体験を提供する実証実験を実施
 - 今年度は青枠エリア（○）における技術課題の洗い出し、及び着色ルート（■）における試乗運行を通じた受容性検証を実施
 - 合わせて、灘五郷エリアにおける酒蔵、飲食店等の施設と連携したビジネスモデル構想の検討を実施

車両

車両名	現行「日産」リーフ
車両メーカー	日産自動車
自動運転システム開発事業者	日産自動車
乗車定員	5名（運転手含む）
最高速度 ^{*1}	60km/h
台数	1台

※1 当該地域の最高速度に従い、60km/h



■ 体制

ベンダー	日産自動車株式会社
運行主体	日産自動車株式会社
運転手	セーフティドライバ有にて走行
保安員	有

■ 運行ルート・運行期間／運行形式

運行ルート	着色ルート (■)
運行期間	2026年1月19日～2026年1月23日
運行形式	無償／定時運行を予定

運行距離 5.35km^{※2}

- 今年度の実施ルート
- 次年度以降に拡大を検討するエリア
(双方とも概ねの範囲)
- ↔ 次年度以降に検討する駅へのアクセス

※2 今年度実施予定エリアの運行距離



1-2.自動運転移動サービス実装に向けたロードマップ

L4自動運転移動サービス実装に向けたロードマップを作成

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
実証実験	<p>【周回路の走行実証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灘五郷の酒蔵4社をめぐる周回コース ・レベル2 ・試乗運行 	<p>【オンデマンド運行区域における走行実証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド運行区域 ・レベル2 ・試乗運行 	<p>【有償でのオンデマンド区域運行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド運行区域 ・レベル2 ・有償運行 	<p>【一部区間でのL4走行実証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド運行区域 ・レベル2 (一部レベル4) ・有償運行 	<p>【拡大エリアでのL4走行実証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド運行区域 ・レベル2 (一部レベル4) ・有償運行 	<p>レベル4自動運転移動サービス実装</p> <p>30年4月～</p>
許認可申請			<p>【走行環境条件付与 (道路運送車両法)】</p> <p>開発した車両に対し、走行環境条件付与を実施</p>	<p>【特定自動運行許可 (道路交通法)】</p> <p>一部区域において特定自動運行許可を取得</p>	<p>【旅客自動車運送事業許可 (道路運送法)】</p> <p>旅客自動車輸送事業許可を取得するとともに、特定自動運行許可取得区域を拡大</p>	

1-2.今年度の事業実施スケジュール

1月下旬に関係者・一般試乗運行を予定

大項目	小項目	25年									26年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.体制構築	体制構築・キックオフ				→								
2.実証実験準備	車両準備					→							
	開発拠点準備			→									
	運行ルート策定等	→											
	HD map作成、および改造				→	→	→						
	HD map評価、改良					→			→				
	リスクアセスメント						→						
	技術適合開発・運行準備評価走行						→	→					
	自動運転運航実施/検証							→					
3.実証実験実施	関係者・一般試乗運行								→			→	
4.結果とりまとめ	検証結果のとりまとめ											→	
5.成果報告	報告書作成/報告会準備											→	

Agenda

1. 自動運転実証調査事業の概要

- 1. 実証の背景と目的
- 2. 実証の概要

2. 実証内容詳細

3. 検証内容

試乗運行タイムスケジュール

- ✓ 1日10スロット = 20名
- ✓ Total 100名 試乗運行関係者 50名、一般募集50名を予定
- ✓ 一般募集については神戸市のHPにて11月28日より募集開始
- ✓ 応募多数の場合は抽選とし、結果は年内にご案内

1試乗あたりタイムスケジュール

受付 10分
事前説明、誓約書署名 15分
移動 5分 AD同乗 18分
移動 & アンケート回収 10分

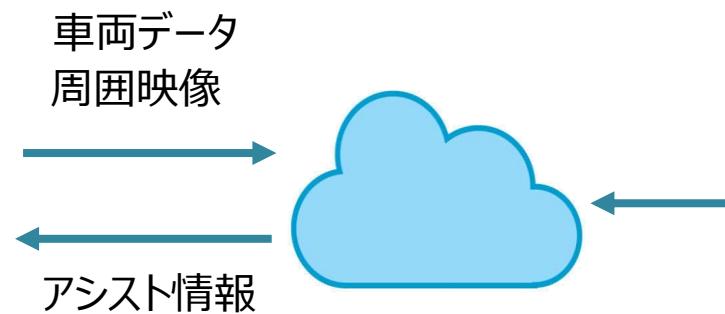
Total ; 58分 + 予備2分

1日あたりタイムスケジュール

試乗枠	乗車開始時間	注記
1	8:45	
2	9:20	
	9:40-10:30	Cool down
3	10:30	
4	11:05	
5	11:40	
	12:00-13:15	Cool down/Lunch
6	13:15	
7	13:50	
8	14:25	
	14:45-15:35	Cool down
9	15:35	
10	16:10	

遠隔監視からのアシスト機能

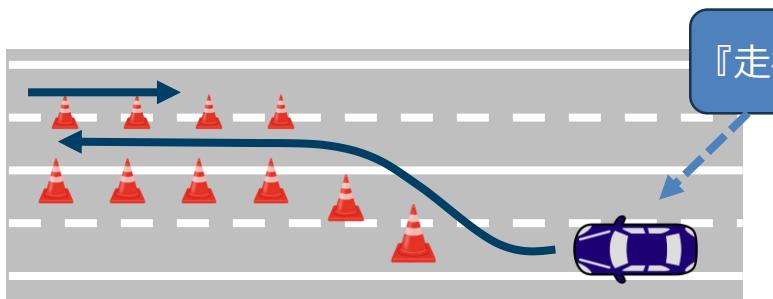
- 走行上の障害により継続的に停止している場合に、遠隔監視システムからアシスト情報を送り、自動運転車両の速やかな運行継続を支援
- L4実現時に必要な機能であり、アシスト情報の送信は遠隔監視員が担う。



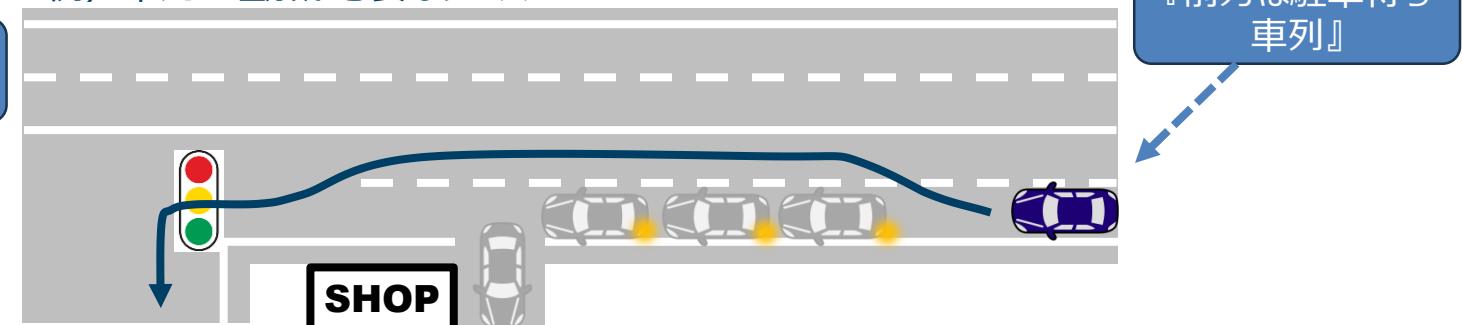
遠隔監視システム
継続的停止状態にあることを判定



例) 道路工事により反対車線に誘導されるケース



例) 車列の理解が必要なケース



試乗運行 乗降場所及び試乗の運用について（神戸酒心館）

- 自動運転車両の待機場所は西側駐車場を利用し、公道での待機が発生しないよう運用
- 試乗開始時は、特に後方からの車両に注意しながら発進



試乗運行体制

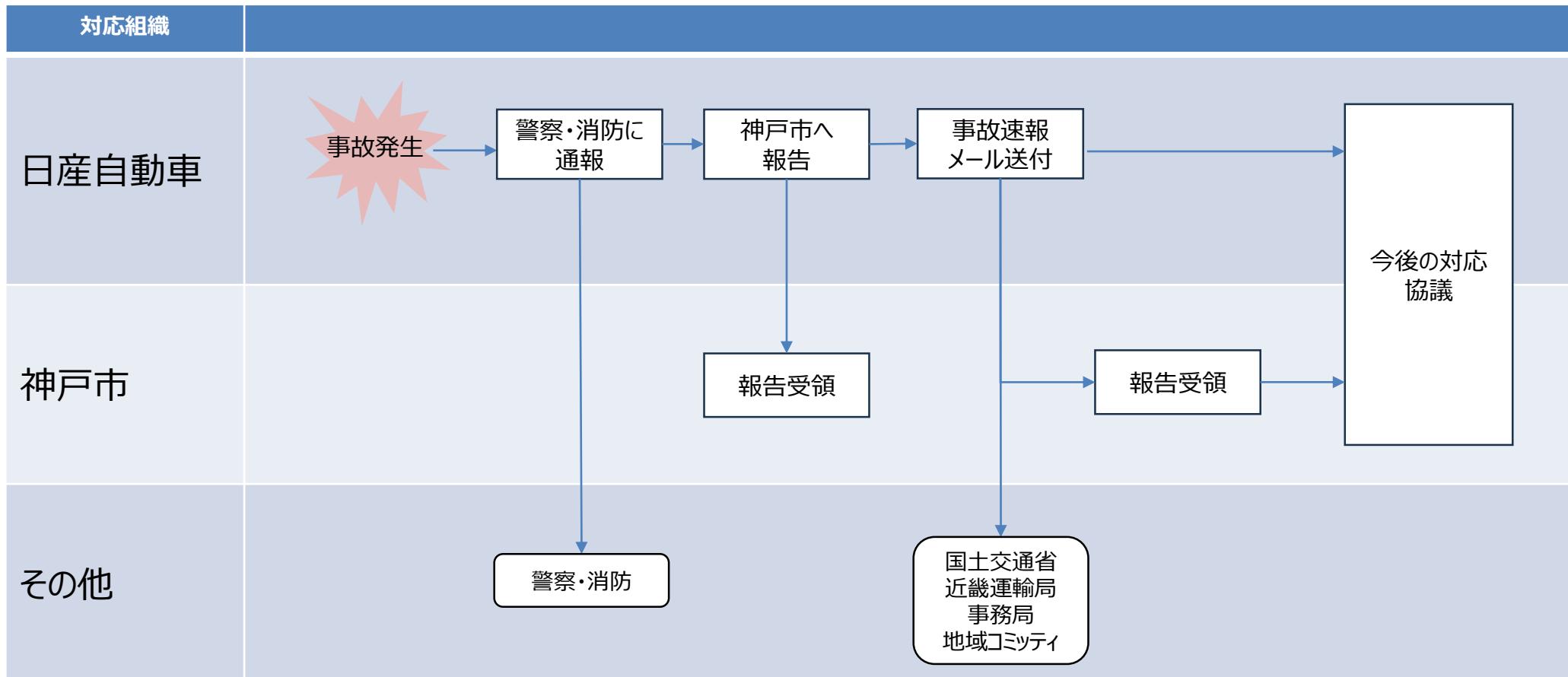
神戸市、日産が実証全体の運営責任を持ち、試乗運行/運営はMoplusがコントロールし、その中で技術的側面（車両、セフティドライバ、自動運転遠隔監視システム等）は日産が担う

役割	担当者	内容
実証全体責任者	神戸市/日産	実証事業全体の統括責任を持ち、運行管理者からの報告を受け、試乗運行実証結果の報告義務を負う
運行管理者	Moplus	試乗運行に責任を持ち、緊急時や事故、トラブルなどに対して、運行実施の最終判断をする
自動運転安全責任者	日産	自動運転車両、システム、遠隔監視について安全に運行する責任を持ち、運行管理者と共に試乗運行実施の最終判断をする
拠点リーダー	Moplus	試乗運行/運営の責任を持ち、車両オペレーションリーダーからの報告も合わせて、緊急時や事故、トラブルなどに対して対応策を判断し、運行管理者、自動運転安全責任者への報告を実施
車両オペレーションリーダー	日産	試乗運行での車両及び自動運転システム、ドライバ、その他補助員の管理責任を持ち、緊急時には拠点リーダーへの報告を実施
試乗運行/運営リーダー	Moplus	試乗運行での人員配置、誘導、タイムスケジュール管理責任を持ち、緊急時には拠点リーダーへの報告を実施

試乗運行 緊急時の対応フロー

- 事故発生時においては、本補助事業の実施マニュアルに基づき、発生当日(速報)・3日以内(詳報)・30日以内(事故要因分析報告書)に報告を行う

事故発生当日の速報連絡フロー



Agenda

1. 自動運転実証調査事業の概要

- 1. 実証の背景と目的
- 2. 実証の概要

2. 実証内容詳細

3. 検証内容

試乗による検証項目

試乗実証を通して以下項目の検証を実施する

検証テーマ	取り組み内容	想定される成果
事業化に向けた観光を考慮したモビリティサービスの潜在需要性検証	酒蔵関係者や地元事業者とサービス検討を行い、試乗運行期間中にテストマーケティングを実施	アンケート結果に基づく、想定サービス潜在需要性調査結果
酒蔵間の運行ルートにおける技術検証	横浜みなとみらい地区における実証実験で培った自動運転技術を用い、2025年度試乗運行区間におけるリスク要因の抽出とドライバーオーバーライド走行対応を実施	対象区間におけるドライバーオーバーライド走行の実現
社会受容性に係る調査	試乗イベントに参加した方にアンケートを実施して、自動運転サービスの満足度に関する項目を評価する	レベル4運行に向けた自動運転サービスの社会受容性評価結果